

第 3 回草津市総合計画審議会における
主な意見とその対応について

○は審議会での意見・対応
→は審議会後の事務局対応

主な意見・確認事項	対応等
<p>(現状と課題について)</p> <p>○ 市民意識調査では、達成度・重要度・満足度の 3 項目を、57 項目の基本方針すべてにおいて、回答いただいているのか。</p>	<p>○ 57 の基本方針単位で重要度と満足度を測る質問項目を設けている。</p> <p>○ 市民意識調査結果を目標達成度の指標としている基本方針があり、満足度・重要度とは別に質問項目を設けている。</p>
<p>○ 回答者は基本方針の内容をどこまで理解されているのか。この結果はどの程度信頼できるものなのか。</p>	<p>○ 参考として、基本方針の取り組み概要を調査票に記載している。</p>
<p>○ 市民意識調査の回答者の年齢層はどのようになっているのか。</p>	<p>○ 23 年度の調査結果では、20 歳未満が 2%、20 歳代が 7.8%、30 歳代 15.6%、40 歳代が 15.3%、50 歳代が 12.1%、60 歳代が 23.2%、70 歳代が 14.1%、80 歳以上は 5.0%、無回答が 4.9%となっている。</p>
<p>○ 基本方針の目標達成度は項目ごとの平均となっている。項目によって達成度が 0%から 100%のものがあり、単純平均した数字だけをみて評価してよいのか。達成度評価が A であっても市民満足度がさがる点などを重視してはどうか。</p>	<p>○ 資料は、基本方針ごとの達成度を概観することを目的に取りまとめたものである。施策体系の検討にあたっては、基本方針、施策単位での評価実績、あるいは市民意識調査に基づく評価も踏まえたうえで検討している。</p>
<p>○ 7 番「長寿・生きがい」は目標達成度が 100%にもかかわらず満足度評価は C となっている。目標達成度は目標設定の数字で変わる。達成していないため満足度が低いという理解をすれば、目標の数字を変更することで満足度を上げることになるのでは。</p>	<p>(会長)</p> <p>○ 達成度は 100、市民満足度が C の場合、目標設定が適切であったのかという議論になる。第 1 期計画の達成度と満足度の結果を見ながら、第 2 期計画の数値目標の設定については、またご意見をお願いしたい。</p>
<p>○ 高齢の方の回答率が高いため、評価がその層に引っ張られていると思う。平均的に人数を合わせて評価したほうがよいのでは。</p>	<p>(会長)</p> <p>○ データには色々なバイアスがかかる。バイアスを精査しながら目標値の設定等に当たる必要がある。市民の満足度は重要だが、重要度と満足度と施策をどのように立てていくか、多角的に検討していくことが大切だと認識している。</p>
<p>(第 2 期計画の施策体系案について)</p> <p>○ 施策体系のなかで、ロードマップ事業名が示されていないものはどのように解釈したらよいか。</p>	<p>○ 資料はロードマップ掲載事業が第 2 期基本計画でどのような位置づけになるのか関係性を示している。ロードマップに示されていない事業も市として取り組んでいく。</p>

主な意見・確認事項	対応等
<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本方針、施策の名称、区切り方は市民にわかりやすいこと、評価に関わってくることを踏まえて考えていただきたい。 ○ 「生活安心」の分野に「公衆衛生の向上」という施策があるが、もう少し具体的に事業がイメージできる表現に検討いただきたい。 ○ 「地域福祉」の分野に「『地域力』のあるまちづくり」という基本方針がある。「地域力」は人によって捉え方が違う。「地域力」と聞いて地域福祉をイメージできるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施策の名称等について再検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標達成度がC、市民満足度Cという場合は、施策を増やす方針があったと思うが、例えば「障害福祉」の分野は施策が増加していないがなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 満足度が低いものについて施策等を分割するという方針はあるが、他のさまざまな状況も勘案し、それぞれの事業展開のなかで満足度の向上をめざすものもある。障害福祉分野は満足度が低い、施策等の分割ではなく、事業展開のなかでの満足度向上をめざすこととした。
<p>(リーディング・プロジェクトについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リーディング・プロジェクトとしてこの3つが選定された理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2期基本計画が市長の任期とリンクしていることも踏まえ、市長も含め、関係部長等との協議により、第2期計画で重点化すべき方針について選択した。 ○ 「草津川跡地の整備」、「中心市街地の活性化」は、市長が任期のなかで重点的に取り組むことを明言している。「地域・テーマコミュニティの活性化」は総合計画全体を通して「協働のまちづくり」が位置づけられている中で協働のパートナーを支援するものとして位置づけている。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 草津市政の今後の4年間のなかでリーディングとして位置づける理由を提示していく必要がある。 	<p>→ 第4回審議会で選定理由を提示する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ リーディング・プロジェクトの選定と、市民満足度、重要度にもとづく施策体系の見直しの優先度との関係はどのように理解すればよいか。 	<p>→ リーディング・プロジェクトは、総合計画の展開に幅広く好影響を及ぼすと考えられる基本方針のうち、特に重点的に取り組むべき項目を選定したものであり、市民満足度にもとづく施策体系の見直し優先度と関係づけて選定したものではない。</p>

主な意見・確認事項	対応等
<p>○ 資料1 ページの「課題について」において、「波及効果を示す成果指標の設定が困難であったことから、リーディング・プロジェクトとして位置付けたことによる波及効果を明確に測ることができない」とある。今期のリーディング・プロジェクトは波及効果を測定できるものとして設定していると受け取れる。 波及効果を量として測定できるとは思えないので、そのような表現はすべきではない。</p>	<p>→ 波及効果を測定することはできないと考えており、表現について検討する。</p>
<p>○ 資料3 ページのイメージのなかで、「地域・テーマコミュニティの活性化」という表現が理解しにくい。もう少しわかりやすくイメージが持てるように検討いただきたい。</p>	<p>→ 検討する。</p>